



## 土に触れ、交流が生まれる：島根大学開放事業「みのりの小道」の取り組み

### 生物資源科学部

生物資源科学部には、憩いと学びの屋外空間「みのりの小道」があります。学生の休憩場所であると同時に、ブルーベリーやイチジク、野菜などが育つ、キャンパスの中の青空教室です。

みのりの小道での活動は、SDGsが目指す「質の高い教育」や「持続可能な地域づくり」を実践しています。普段は、生物資源科学部の教員を中心に管理されていますが、年4回、大学開放事業として、イチジクの挿し木やブルーベリーの収穫体験を実施しています。教員と市民が青空の下で一緒に土に触れ、会話を楽しみながら、自然の不思議や育てる喜びを共有します。

日々の管理作業と公開作業を通じて、みのりの小道は、だれもが気軽に立ち寄れる場所として、大切に維持・管理されています。大学という場所を地域にひらき、多世代が交流する。人と人、人と自然のつながりが生まれる場所です。

